

東脊振小 よい子のくらし

1 登下校

- (1) 登下校は、決められた通学路を通る。
- (2) 登校時刻は、7時35分から8時までとし、8時になったら教室に入る。
- (3) 16時までには校舎を出て下校する。
校内に残る場合は、必ず担任や担任に依頼された教職員の目の届くところで学習等をする。
- (4) 地区ごとに班を作って登校する。また、学年や学級で班を作って下校する。
- (5) 登下校時にはランドセル等を使用し、制服・帽子・防犯ブザーを携行する。
名前札は登校後に教室でつけ、下校時に教室で外す。
- (6) 原則として歩いて登下校する。

2 授業の準備

- (1) 次の授業の準備をしてから休み時間をする。
- (2) 始業のチャイムの合図を守り、静かに着席して授業開始を待つ。

3 服装

- (1) 学校では制服を着用し、登下校時は黄色い帽子 (Cap もしくは Hat) をかぶる。
夏服…白のポロシャツ、紺色の半ズボンもしくはつリスカートとする。
シャツはズボンやスカートの中に入れる。
冬服…紺色の上着に、同色の半ズボンもしくはつリスカートとし、紺色の上着の下は、白のポロシャツとする。
※ 冬季は、登下校時および校内での防寒着・防寒具等の着用の目安を定め、詳細については保護者に文書を配布する。
- (2) 校内では、制服の左胸のポケットの位置に名札をつける。
- (3) 校舎内では上靴を使用する。
- (4) 清潔な髪型を心がける。健康を考えて、髪を染めたり加工したりしない。
髪の毛が肩にかかる人は結びましょう。髪が目に入らないように切ったり留めたりしましょう。
- (5) 体操服および体育時の服装については、保体部で定め、保護者に文書を配布する。
- (6) 儀式の際は、白・黒・紺色の靴下をはく。普段の靴下は制服にあったものを着用するように努める。

4 給食

- (1) 給食の時間は、給食着とマスク、ぼうし (三角巾) を全員着用する。給食着は週末に持ち帰り、洗濯をするなどして、清潔に保つ。
- (2) 全員、給食前にていねいに手を洗い、配膳中は席に着いて静かに待つ。マナーを守って食べ、給食が終わったら歯みがきをする。

5 室内

- (1) 室内では静かに過ごす。
- (2) 廊下は、右側を静かに歩く。
- (3) 廊下や階段・特別教室では遊ばない。

6 休み時間

- (1) 次時の学習の準備を行う。
- (2) 天気のよい日の 20 分休みと昼休みは、できるだけ運動場で元気に遊ぶ。
- (3) 予鈴の音楽や校内放送とともに遊びを止め、教室や掃除の場所へ行く。
- (4) サッカー、キックベース、ドッジボールは決められた場所で行う。
- (5) 転落事故防止のため、担任の許可なく勝手にベランダに出ない。

7 あいさつ・言葉づかい

- (1) 来校者や先生・友達に元氣よく気持ちのよいあいさつをする。
- (2) 職員室や事務室に用事があるときは、出入り口で「名前、～の用事で来ました、入っていいですか」、部屋を出るときには「失礼しました」をはっきりした声で言い、「礼」をして出入りする。
- (3) 正しい言葉を用い、目上の人には「敬語」を使う。

8 金銭、電話連絡等

- (1) お金は原則として持ってこない。お金を持ってきた場合は、そのことを担任に知らせておく。
また、学校内外に関わらずお金や物の貸し借りは絶対にしない。
- (2) 原則として、忘れ物等での外線電話は使用しない。やむを得ず使用する場合は、必ず担任の許可を得る。登校後は、安全のため忘れ物は取りに帰らない。

9 校外生活(この項目は、家の人としっかりと話し合いをしましょう。)

- (1) 校区外へは、子供たちだけでは行かないようにしよう。
校区外へ行く用事がある場合は、家の人に相談しよう。
- (2) 自転車に乗る場合は、ヘルメットをかぶり、交通ルールを守って安全に乗ろう。
(乗る範囲は、1～3年生には地区内まで、4～6年には校区内までを推奨しています。)
- (3) 道路、河川、線路内などの危険な場所では遊ばないようにしよう。
- (4) 施設や田畑へのいたずらや、火遊び、物を盗む等は絶対にしないようにしよう。
- (5) 事件に巻き込まれるのを防ぐため、一人では遊ばないようにしよう。
- (6) 不審者に出会ったら、すぐに逃げよう。また、近くの大人や「子供 110 番の家」に助けを求めよう。帰ったらすぐに家の人に伝え、警察に連絡してもらおう。
- (7) 用事がないときは店に出入りしないようにしよう。映画館やボウリング場などへは、家の人と一緒に行こう。ゲームコーナー・カラオケボックス・複合遊具施設などへの出入りも家の人と一緒にしよう。
- (8) インターネットに接続できる機器は、使い方の約束を家の人と一緒に決めよう。
SNS を使った子供だけの交流はしないようにしよう。